

1950年代から70年代に建てられた戸建て住宅にフォーカスする展覧会。人間の私的な居場所である住空間に対しての多様な試みを、戦後を代表する16人の建築家の作品から探ります。

(A.O)

アート散歩「小さな家をめぐる旅」と「入間新緑たてものツアー」

5月31日の「アート散歩 小さな家をめぐる旅」続く6月1日の「入間新緑たてもツアー」は、SMFの企画として定番になりつつあるアート散歩の、バスツアー版。ともに、暑いぐらいの好天に恵まれて、多くの方に楽しんでいただくことができました。

「小さな家をめぐる旅」のほうは、さいたま市・埼玉
 県で、このところちょっとしたブームになっている6
 つの小屋を見てまわるという、ややマニアックなツ
 アー。大きくて立派な建築を見に行くならともかく、な
 ぜ小屋を？と思われるかもしれませんが、様々な理

由から生まれた小さな空間を実際に体験することで、小屋の魅力に触れてみようというものでした。それぞれの持ち主や、実際に住んでいる方などの解説もあり、時代も背景も異なる建築の原型のようなものに、迫ることができました。

「入間新緑たてもとのツアー」は、今回初めて、入間市観光協会、入間市博物館と共催。募集開始日に定員超え、当日はスタッフ含め50名の参加となりました。入間といえば「お茶」というイメージですが、入間は意外とアメリカンな街だった、というのが新しい目

のつけどころ。アメリカ人の英語バスガイドも雰囲気
を盛り上げます。

旧石川組製糸西洋館では、進駐軍による改造箇所も丁寧に解説され、その後バスでアメリカ人建築家アレグザンダーが設計した盈進学園東野高等学校へ。隣接した入間市博物館にも、お茶や絹糸をアメリカに輸出した時のラベルがあります。刈り取りの済んだ茶畑の間を歩いて製茶園で新茶試飲。その後、アメリカなジョンソントウンを見て回り、そこでの大澤加寿彦さんのミニライブで、ホッとした一日が終わりました。（Y.A）



SMFアート寺子屋2014 Vol.1 「あなたも今日からアーティスト」

SMFアート寺子屋2014 vol.1(2014年6月22日)では、アートプランナーの三ツ木紀英さん、アーティストやアートイベントを紹介するウェブサイト運営している竹本清香さん、社会学者で東京芸術大学准教授の毛利嘉孝さんを招き、各氏の活動についての講演と、パネルディスカッションを通して、SMFが目指すプラットフォームの方向性を模索します。

SMFでは2008年から、埼玉県内で様々なアートを軸とするイベントを、建築家、美術家、美術教員、舞踊家、美術館・博物館の学芸員や職員、音楽家と共に実施してきました。徐々に様々なアーティストの交流の輪や場が形成され、定着しつつあります。アーティストが交流したり作品を発表したりする場としてのプラットフォームは既に形が見え始めているともいえるでしょう。

そのような流れのなかで、SMFアート寺子屋
2014 Vol.1「あなたも今日からアーティスト」では、
SMFがこれから考えていくアートプラットフォーム



を、インターネット上に形成していく方法を模索します。そのプラットフォームは、プロのアーティストだけでなく、将来アーティストになりたい人、かつてアーティストだった人、休日だけアーティストをやっている人など、プロやアマチュアを問わず、アートに関わる全ての人々が自由に参画できる仮想空間を想定しています。私たちは、その仮想空間の形成を通して、アートを軸として展開する全ての事柄をアーティスト的な行為として拡大して捉え、より多くの人々が参画可能なプラットフォームを形成したいと考えています。かつて、アーティストのコロニーは、私たちが実際に生活する実空間のユートピアとして多くの人々のあこがれでした。一方私たちが目指しているプラットフォームは、アートに関わる全ての人々によって形成されるバイオトープであり、インターネット上の仮想空間における創造的思考の生態学的環境といった、より拡がりのあるユートピアとなることを願っています。

(T.S.)